



ボタニカルニュース

第 61 号

チーム佐川推進課
電話 22-7740

① いよいよ夏本番☆

今年の梅雨入りは6月26日で、最遅記録更新となりました。遅れを取り戻すかのように雨が降り続きましたが、植物には恵みの雨で、今のうちにと水分補給！除草作業もイタチごっこ：モリモリと競争しながら、続々と夏の花が咲いています。虫対策&飲み物の準備をしっかりして、ぜひ牧野公園へ遊びに来て下さいね☆



▲タキユリ (花：7～8月上旬)

② 8月に見頃のお花たち♪



A. キツネノカミソリ(狐の剃刀) ヒガンバナ科
ヒガンバナ属。名前は葉の形が剃刀に似ていることに由来。花：7月下旬～8月頃。

▼研修風景



C. カリガネソウ(雁草)

シソ科カリガネソウ属。和名は花の様子を雁の首に見立てたことに由来。花：8～9月頃。

B. ヒオウギ(檜扇)

アヤメ科アヤメ属。日当たりの良い草原に生える多年草。花：7～9月頃。

③ はなもりC-LOVE

研修旅行♪

6月4・5日、牧野公園はなもりC-LOVEの研修会として、参加者16名で、兵庫県内の牧野博士ゆかりの地を視察しました。博士が「日本のノジギクの群生地」と称えた『大塩のじぎくの里公園』博士の恩人・池長孟によつて開所された植物研究所跡である『会下山小公園』、開園時に博士の指導を受けた『六甲高山植物園』その他、県内の植物関連施設。3施設では、ガイドをしていただき、博士のエピソードなどをお聞きました。また、牧野博士命名種である「ワカキノサクラ」の贈呈も行いました。

④ まちまるごと植物園

「植栽会 in 桜座」

7月6日(土)に、山野草の植栽会が開催されました！今回は牧野公園を飛び出し「桜座」で行われました。当日は、スタッフを含め40名近くの方にご参加いただき、晴天の下、今まで育ててきた苗を植えていきました。皆で植えた牧野博士ゆかりの山野草は約30種類で、もともと植栽されていたものと合わさって、さらに賑やかになりそうです。桜座に訪れた際は、ぜひ注目して見ていただけると幸いです☆



青山文庫だより

「志士たちの遺墨」がはじまりました

前回は普段の青山文庫ではなかなかない美術を主とした企画展を行いました。今回はいつもの青山文庫らしい展示に戻りました。タイトルだけ見れば「いつもと同じじゃない？」と思われるのですが、展示資料はその都度入れ替えていますので、見てくださるそれぞれの方にとって初めての資料もあるのではないかと思います。これは、同時開催している小展示「江戸時代の佐川」と小展示「佐川ゆかりの人びと」も同様です。

小展示「江戸時代の佐川」は、土佐藩筆頭家老・深尾家の領知であった佐川領(深尾領)を紹介する展示ですが、今回は佐川にあった学校・名教館の額や、名教館で教えた学者たちの資料を特集しています。すぐ近くには、名教館の建物もありますので、一緒に楽しんでいただければ嬉しいです。

小展示「佐川ゆかりの人びと」では、広井勇(近代土木の先駆者)・土方寧(法学者で、中央大学創設者)・古沢滋(民権院設立建白書の起草者)・水野龍(ブラジル移民の父)など、明治以降に活躍した人びとを主に紹介しています。佐川出身者が、このように様々な分野で活躍してきた事に驚

かれるのではないのでしょうか。

また、「人びと」ではないのですが、佐川を脱走した田中光頭が、脱走後はじめて帰郷した明治39(1906)年の様子を収めたアルバムと、大正15(1926)年に帰郷した様子を収めたアルバムから、昔の佐川の写真をパネルで紹介しています。

かつて霧生関にあった伊藤蘭林彰徳碑前での写真、旧主・深尾家の菩提寺である青源寺での写真、完成したばかりの青山文庫本館前での写真、田中の生家跡地に建立された生誕記念碑前での写真、数年前に開通したばかりの国鉄の線路を和楽園から臨んでいる写真など、田中の行く先を追ったものがあります。明治末から大正末にかけて、どんどん変わっていった佐川の様子が記録されているものもあります。

さすがに、この時代を記憶されている方は少ないと思いますが、昭和にも残っている建物や風景が写されていますので、懐かしくご覧いただけるのではないのでしょうか。

(青山文庫 藤田有紀)

▶展示案内▶

○夏の企画展「志士たちの遺墨」

○小展示「江戸時代の佐川」

○小展示「佐川ゆかりの人びと」

6月26日(土)～9月29日(日)

文芸

川柳

戦いに 敗れ悔しい 海ゆかば 被爆者の 現実を見た 平和展

「やや！」と釘付け 樹より直下の魚一匹 衣替え この服でもう 二十年 和田 憲一

俳句

電線は 巢立ち燕の 止まり木に 味元 佐知子

短歌

忘るとも 忘れ易きを 嘆かざれ また覚えれば よし老いの立居ぞ 道沿いに バス待ちがてら 談笑す 行楽なるらむ 老婦ら三人 三戸岡 浄(ペンネーム)

色あせし昭和の写真ながむれば 時の流れは線光花火

2才児はグミを食べつつ眠くなり アンパンマンとおとぎの国へ 福寿草(ペンネーム)

仁淀ブルーは 白緑となり 降りゆく 梅雨の出水は 鮎もろともに

刈り終へし 茶畑はみな 褐色の 蛇腹のごとき峽の傾(なだ)りに 黒岩 英起

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※ 10月号への掲載を希望される方は9月1日(日)まで
投稿方法：氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。